

｜ 特集 ｜

自立・自律を目指して地域に根差した活動を行っているクラブ

創意工夫で協賛店や会員を増やし、 財源確保を図って自立の道を進む

NPO法人 尾花沢総合スポーツクラブ

商店街・商工会との共同活動、出前健康教室、学童保育の開設など、地域に根差すための活動を積極的に行っている「尾花沢総合スポーツクラブ」。さらに財源確保のために協賛店や会員数の増加を目指すだけでなく、新たな行政事業の受託を推進しながらクラブとして自立を果たしている取り組みを紹介します。

🏆 キーポイント

- ◎商店街・商工会との共同活動で貢献
- ◎高齢者・児童など地域住民のための献身的な活動
- ◎行政の事業を受託し、安定した運営を目指す
- ◎小学校との連携を強める

1 | クラブ概要

尾花沢市も平成12年に掲げられた国のスポーツ振興基本計画を受け、平成14年に創設推進委員会を立ち上げ、平成15年の設立準備委員会を経て、平成16年10月に「尾花沢スポーツクラブ」を設立しました。さらには平成22年にNPO法人を取得、名称も「NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ」と変更し、現在に至っています。設立当初は、スクール部門とサークル部門に分かれ活動をしていましたが、会員の固定化により会員数の拡大が見込まれないことから、スクール部門とサークル部門の内容を精査し、教室として一本化し、より誰もが参加できるようにしました。また、平成19年からは尾花沢市運動公園の指定管理を受け、施設利用を目的とした会員制度を設定し、一部のサークルには施設利用制度を活用していただき、引き続きクラブ会員として参加していただいています。さらには、会員以外の地域の誰もが参加できるイベントも日常的な教室以外に開催しています。特に四季の表情が豊かな尾花沢の特長を生かしたイベントで尾花沢の良さを実感してもらうのが目的となっています。

2 | 地域に根差すための3つの活動

●商店街・商工会との共同活動

スポーツクラブのイベント(ウォークラリー大会)でコース選定の一つとして、商店街を歩く企画をきっかけに商店街協同組合理事長さんとの懇談ができ、活動が始まりました。

- ・商工会による「空き店舗活用事業」への参加

ウォークラリー大会の発着所や中継所、ニュースポーツの体験会場として空き店舗を活用

- ・商店街各店舗の協賛店への参加

クラブ会員への様々な優待サービスを提供

- ・地域のお祭りへの参加

体力測定や軽スポーツ・ニュースポーツを体験・紹介するブースの設置

年によっては、ウォークラリー大会の発着所としてお祭り会場を活用

これらの活動により、クラブイベントへの賞品提供など活動に広がりが出てきています。ただ、商店街の店主さんたちも高齢化で数年後・十数年後、商店街の存続が危ぶまれている状況を今後どう考えていくかが大きな課題となっています。

●出前健康教室

クラブの資格保有者やクラブ事業内容・方向性を市福祉課に説明したことにより、事業が始まり、その事業がきっかけとなり、市内各地区へ出前健康教室を行っています。市内の郡部は、特に高齢化が進み、体育館などの施設に出る手段がない方々もいます。そういう方々を対象に各地域・部落公民館等を活用しながら介護予防などの教室を開いています。

●学童保育の開設

共働き率の高い地域ということで地域の保護者からの要望がきっかけで、クラブハウスである体育館の一室を学習室兼待機室として、民設民営の学童保育を開設しました。学区の小学校の協力をいただきながら体育館への下校班を作っていただきました。管理施設の利用が少ない時間と重なるため子どもたちは、体育館などの広いスペースを使っでの運動遊びができます。子どもたちは、学校が終わると歩いて下校するため、施設のある学区の子どもたちに限られているのが課題です。



ニュースポーツ体験イベント
(デックスティックゲーム)



学童遠足 蔵王のお釜での集合写真



雪遊び体験



会員交流バスツアー
(羽黒山トレッキング)

3 | 財源確保の取り組みがもたらすクラブ内外への効果

●会員拡大

「スポーツをしない方々にもスポーツクラブの会員になってもらうには」ということで協賛店を拡大
→(会員の声)「会員証を見せるとさまざまなサービスが受けられるので、協賛店に行ってみようかなと思うようになりました」

(店舗の声)「今まで来ないようなお客さんが来るようになりました」

- ・協賛店を目的にする会員さんの増加(浸透度合いはまだまだ)
- ・協賛店の店舗数が増加(現在27店舗)

●賛助会員の拡大

尾花沢の主産業は農業です。そこで尾花沢や山形県内の産物を交流のある全国のクラブに紹介・販売することで生産者の販路拡大につながり、クラブの賛助会員になってもらう提案ができます。

→(生産者の声)「日本各地に生産物が紹介されてありがたいです」

(クラブの声)「とてもおいしいものをありがとうございます。また来年もお願いします」

※現在効果を検証中。

●行政事業の受託

教育委員会事業は当然ではありますが、健康増進課・福祉課・商工観光課などの他部局との連携を深め、新たな事業への進出を目指します。

- ・保育園への運動教室指導(新規事業)の受託
- ・買物付き健康教室の検討
- ・尾花沢オリジナル健康づくり事業運動指導(新規事業)の受託

4 | 小学校との連携を強め、存在価値の構築を推進

文部科学省の「地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト事業」として小学校体育活動支援等を行った後も、一部の小学校から体育活動への支援の要請があり関係はつながってはいますが、より多くの小学校との連携を強くしたいと考えています。そのためには、教育委員会・校長会などともより一層懇談をしていく必要があると考えています。また、会員の「マイクラブ」意識の向上と、より地域になくてはならないという存在価値の構築を図る活動を推進していく必要があると考えています。

(クラブマネージャー／佐久間秀晴)



クラブプロフィール

- 設立年月日：平成16年10月2日
- 所在地：山形県尾花沢市
- 運営：会員数495名（平成27年7月現在）、予算規模4,500万円（平成27年度）

特徴：幼児から高齢者まで誰もが楽しく健康に参加できる12の通年プログラムや、尾花沢の四季が感じられる各種イベントを開催しています。前出の自主事業の他、尾花沢市運動公園の指定管理、その他健康事業等の委託事業を受託し、安定した運営を目指しています。

連絡先：〒999-4224 山形県尾花沢市新町3丁目5番地35号

TEL：0237-24-0188 FAX：0237-22-1055

Eメール：fight@ic-net.or.jp

ホームページ：<http://www.obanazawa-sports-club.net/>

Facebook：<https://www.facebook.com/NpoObanazawasportsclubSLandObane>